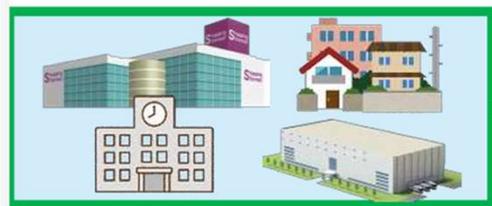


まちづくり×交通×市民活動連携



まちづくり



交通

連携



市民活動

私たち、人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀は、近江鉄道の上下分離をきっかけに市民活動と交通を連携させようと活動を始めました。今まで近江鉄道は私鉄で、会社の事業として鉄道を動かしていましたが、上下分離になると、お金儲けのためではなく地域にとって必要だから、公益があるから税金で設備をメンテナンスします。

これは、市民の鉄道になったとも言えます。となると、市民の方にその意識ができれば、近江鉄道をもっと利用して地域をよくしていくことができます。このためには、まちづくりと、交通と市民が一緒に動くようにする必要があります。

「近江鉄道をこう使えば、この地域がよくなる」ということを市民の側からも考えたいのです。



おいしいものを食べたい、働きに行く、勉強に行く、買い物したり、会いたい人に会う、商売のお客様に来ていただく。
 全部が家の中で完結することはありません。
 つまり、生きるには移動が絶対必要です。でも、当たり前すぎて、「移動」はあまり意識されません。空気みたいな存在です。
 空気がなくなったら生きていけないように、移動がなくなったら生きていけないのです。移動は空気のように意識されていないけど大事なのです。

クルマで移動できるから大丈夫？

運転できない人は約3割
デートも親の送迎！？

運転が怖い・したくない人

クルマ一台年間40万円

3

「クルマで移動しているから大丈夫だよ」と思います？ そうだと思います。でも、クルマを運転できない人は人口の3割います。その人たちはどうやって生きているのでしょうか？
自分が高校生だとしたら、デートするのも親に送迎を頼むって嫌ですよ？それに、運転が得意な人ばかりではありません。運転が怖いけど、運転しないと働きに行けないから仕方なく運転している人もいます。幸せでしょうか？そして、クルマが一台増えると維持費などで年40万円かかります。2台3台とクルマが増えるのは豊かでしょうか？

公共交通：固定費



こんな問題も起きています。
鉄道は施設のメンテナンスにお金がかかります。
お客様が多く乗れば一人当たりの負担は軽いのですが

公共交通：固定費

重い、不便



渋滞があ

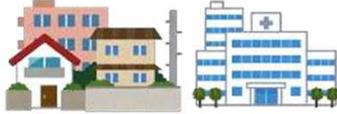


5

クルマが増えて利用者が減ると、一人当たりの負担が重くなります。コストも削ろうと減便すれば不便にもなります。こうして公共交通は萎んでいきます。一方、クルマが増えると渋滞も増えます。これ、みんな幸せでしょうか？これ、社会全体で見たらどうなのでしょう？

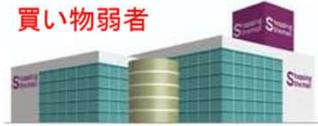
① 駅から離れた地域に施設・宅地

通学負担
送迎負担



災害リスク地への居住
免許返納、交通弱者

買い物弱者



若者の自動車離れ
車通勤事業所の人材確保難



中心市街地の衰退
公共交通の
利用減少と維持困難
駅周辺の開発規制



② クルマの移動が前提に



自動車移動増加 > 渋滞 >
道路整備のいたちごっこ
環境負荷(騒音・排出ガス)
運動不足・医療費増・交通事故
一人一台マイカー所有負担
不安ある人もヒヤヒヤ運転
デートも親の送迎?

③ 一過性のまちづくり活動

例: 駐車場を近接させ
街歩き減少

人の流れと賑わいの設計は?
イベント疲れ

クルマに依存しすぎると、地域もいろいろと問題が起きてきます。
長い目で見て、良い地域にしたいという時、移動を一緒に考える必要があるの
です。



あらゆる事に関する移動をどうするか？

- 今まで・・・・・・・・
- 「鉄道をどうするか？」**
- 市民にとって・・・・・・・・
- 「鉄道でどうするか？」**
- 今まで考えていなかった「クルマ依存が
 続く未来」を皆で予想し共有する
- 議論の前提を皆で理解する
- まちづくりに鉄道を活かす方法について
 皆で考える



今までは鉄道をどうやって残すかを議論してきましたが、鉄道を残すと決まりました。

これからは、市民がこの鉄道を使って地域をどのように良くしていくかを考える段階です。

「クルマの移動が当たり前」が続くとどんな未来が来るのか？

「鉄道を活かしてどうまちづくりするか」

そんなことも皆で考えていきたいのです。

鉄道という強力なツールが皆さんの手にあるのです。

まちづくり×交通×市民活動連携



まちづくり



交通

連携



市民活動

そこで 2年前、やさしい交通しがは
市民活動と鉄道を結び付けようと
活動を始めました。



体験型フォーラムで交通とまちづくりについて学び、現地を見て、話し合いました。
鉄道を使っている高校生にも来ていただき、生の声を聴きました。



そうして、近江鉄道を活かして街をどう良くしたい？というアイデアを出し合い、その中から投票で3つのプロジェクトを選び
今年度はこのアイデアを実践できるように伴走支援をしてきました。

まちづくりと交通の広場しが2024 (こまち広場しが)

人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀（やさしい交通しが）はまちづくりに交通を活かす「交通まちづくり」を沿線の住民が主体となって進めるための人材を育成し、暮らしやすい持続可能なまちをめざしています。昨年、連続フォーラム「まちづくりと交通の広場しが2023」を開催しました。現在は前年と同じく国交省より補助金をいただき、フォーラムで増えた仲間とともに新たに「まちづくりと交通の広場しが2024」の三つのプロジェクトを実施しています。



近江鉄道を どうする？

近江鉄道で どうする？



まちの問題解決に、近江鉄道を使い倒そう！

★三つのプロジェクトと二つの事業

【プロジェクト1】沿線市民に共創プラットフォームを作る講座

近江鉄道沿線にて地域活性化を行うプレーヤーによるまちづくり講座を開催し、沿線に愛着を持つ共通意識の形成をめざします。1月開催予定。

【プロジェクト2】駅で多様な住民活動団体が協業する講座と実習

「近江鉄道グループにぎわいづくりDAYカチャフェス2024」における複数の駅をまたいだハル・音楽・マルシェの企画・実施を通じて大学・市民・団体が交通まちづくりを理解し連携できる体制を作ります。（終了）

【プロジェクト3】交通・都市空間デザインの学生講座と実習

高校や大学の生徒や学生と共に、駅やまちのジオラマ作成を実習しながら近江鉄道駅周辺の理想のまちづくりを学び、体得します。（開催中）

【市民活動プロデュース講座】

市民が「思いつき」を「プロジェクト」に仕立てて円滑に進めるためには様々なノウハウが必要です。今回はその中から、「協働できるミーティング」「活動のマネジメント」「仲間を集めて動かす」の三つのテーマで、活動に必須のテクニックを学びます。（終了）

【成果発表・地域交流会】

今年度のこまち広場しがの成果を発表し、地域の皆さんとともに、まちづくりに交通を活かして地域の問題を一緒に解決していくために意見交換を行います。ぜひご参加ください！ 2025年2月11日（火祝）開催予定

これが今年度の活動です

コミュニティ・モバイル・カレッジ(©MCC) おうみ令和6年度 第1回セミナー

「100%近江産デニム」は可能か？

一綿花揺れるガチャコン沿線のものがたりを思い描くー

日時: 2025年1月26日(日) 13時~15時30分
会場: 福原くよもん邸(近江川町くよもん通り裏側番・近江日本館1F・2F)

スピーカー

小中徹明さん(株式会社ユニークハウス社長・ニードルワークアーティスト)

嶋田拓真さん(製糸職人)

本間浩平さん(株式会社henikam代表取締役)

大和田順子さん(信州テック大学職大教授)

モデレーター
上田洋平(滋賀県立大学地域共生センター特任講師)

小中徹明さん

要は近江八日産のデニムを100%近江産産地産を織造し、世界に誇る「ユニークハウス」の「100%近江産デニム」を「100%近江産デニム」に仕上げたい。近江産のデニムを100%近江産産地産を織造し、世界に誇る「ユニークハウス」の「100%近江産デニム」を「100%近江産デニム」に仕上げたい。近江産のデニムを100%近江産産地産を織造し、世界に誇る「ユニークハウス」の「100%近江産デニム」を「100%近江産デニム」に仕上げたい。

お申込みはこちらのQRコードから!
もしは 0749-28-8855 | 滋賀県立大学地域共生センター | 人地協創室

主催: 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム運営 後援: 近江鉄道、鳥居本駅、福原くよもん邸、滋賀県立大学地域共生センター

国土交通省 モビリティ人材育成事業

いつも駅が大変身! 近江鉄道の駅がゆっくり過ごせるみんなの居場所に!

駅伝カフェ・バル&マルシェ in ガチャフェス2024

2024 10/19 11時~21時(土)

近江鉄道 @ 鳥居本駅・フジテック前駅

近江鉄道100円乗り放題DAY「ガチャフェス」でフジテック前・鳥居本の2つの駅を繋いでイベント開催!

電車を眺めながら音楽を楽しんだり、地元作家のハンドメイド作品やお菓子を楽しんだり、地元企業や団体の意匠の紹介を覗いたり。あなたの楽しみを見つけてください。

心地よい秋風の中、いつもの駅で、知らない駅で、電車を眺めながら楽しむ特別な1日!

鳥居本駅	フジテック前駅
・カフェ・バル	・カフェ
・マルシェ	・音楽ステージ
・音楽ステージ	・産物直売場
・産物直売場	・「鳥居本の面影」展
・「鳥居本の面影」展	・「ひこねの口げま」展示
・「ひこねの口げま」展示	・「湖国と文化」販売

詳しくはこちら→

地元の作家や店が出展。特別なお品に出会えるかも?

自家焙煎のスペシャルティコーヒーをお届け。生煎粉が聴ける生煎粉と一緒にお過ごしください。

地元のアーティストのライブ。生煎粉が聴ける生煎粉と一緒にお過ごしください。

イベントの帰り道や打上げに一緒にいかが? 滋賀の自家産やワイスキーをご用意。

産物の知られざる一面を覗いてみませんか?

主催: 近江まちぞで委員会、人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム運営



この後、各メンバーから発表しますが、

- ①沿線にこんな魅力があるんだと共通の思いを持つために、コミュニティモバイルカレッジを開催し、
- ②100%近江鉄道沿線産のデニムを作ろうというテーマで話し合いましたそして地域の方々に集まっていた鳥居本駅でバルを企画したり

15-18才歓迎！ 交通とまちづくりを学ぶ
駅とまちの模型づくり体験
ー ジオラマ・ワークショップ ー

楽しい・居心地のよい駅とまちを模型で作っちゃおう
模型ジオラマ制作を指導付きで無料体験できます！



この二つ、ジオラマなんですか！

駅って通り過ぎるだけ？ 電車を待つ間、何をする？

友だちとおしゃべりしたり、勉強したり、おやつを食べたり……

楽しくて居心地のいい駅やまちはどんなカタチ？

お年寄りや身体の不自由な人も使いやすくなるのかな？

交通まちづくりを学び、いろんなことを考え、鉄道模型のベテランの指導を受けてジオラマを作ります。ワクワクを見つけに、ぜひおいでください！

駅を見て学んで 理想を考えて 作ってみる



実物の150分の1の大きさ（Nゲージサイズ）の駅とまちの模型ジオラマを作ります。どんなまちがいいのかを建物や道路を作ったり人形を並べたりします。実際に駅を見学するなど、まちづくりの講座もあります。

■持ち物 筆記用具、飲み物
 一近江鉄道沿線の方は、1日350円(近江鉄道ライドパス)
 近江鉄道定期券の方は1日100円で優待が受けられます

■主催者の方へ
 私たち「人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム」では、まちづくりに交通を活用して地域の元気を生み出す人材を育成しています。今回、国交省の補助を受け、公共交通を主に使う年齢の方が理想の駅とまちを考え、ジオラマを作ります。ぜひご参加をお勧めください。

まちづくりと交通の広場2024
 主催：人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム運営（やさしい交通しんが）
 後援：滋賀県、滋賀県教育委員会

■日時 プログラム

- 11月9日(土) 13-18時 ジオラマって？
- 11月17日(土) 10時半-18時 駅を見て歩こう
- 11月23日(土) 11-18時 ジオラマ製作1
- 12月7日(土) 11-18時 ジオラマ製作2
- 12月21日(土) 11-18時 ジオラマ製作3

■参加費 無料(講習・材料費含む)

■会場

彦根コミュニティカフェ On Your Mark

滋賀県彦根市京町3-3-24

JR琵琶湖線・近江鉄道 彦根駅 徒歩8分

■お問合せ、お申し込み

メール: todatoda2@cotton.ocn.ne.jp

電話: 090-2624-5159(担当: 戸田)

※予約にお名前と連絡先を入れてください。取り返しませ

もしくは On Your Mark 忠田まで



「なんかうまくいかない」を「できた！」に変える
実践！交通まちづくり
市民活動プロデュース講座
 まちづくりと交通の広場しが2024



- ★「こんなことやってみたい！」という「個人の思いつき」を「みんなのプロジェクト」に仕立て、実現させるには？
- ★「めざすもの」や「やるべきこと」は明確になっている？
- ★企画を計画にし、段取りをして着実に進めるには？
- ★会議はどうすれば楽しくて有意義になる？
- ★地域に協力者をどうやって増やして活動を広げる？
- ★仲間の気持ちをどうやってまとめる？

社会にある様々な問題を解決するために、市民活動を企画する。それを円滑に進めるには様々なノウハウが必要で、今回は「マネジメント」「ミーティング」「仲間を集めて動かす」がテーマについて体験を通じて学びます。同じ悩みを持つ人たちと意見交換しながら、ともに次のステップを目指しましょう！

日程：2024年9月15日(日)、16日(月祝)、10月5日(土)
 場所：コミュニティカフェOn Your Mark (彦根市京町3-3) +オンライン

プログラム:

第1回 やめたいことを実現するマネジメント

日時：9月15日(日) 19:00-21:00

内容：市民活動を進める上で必須の基本的なことから押さえ、プロジェクトを確実に進めるための進行管理を学びます。

講師：南村 多津恵(くらのるくらすの創造舎)

第2回 協働できる会議をつくる

日時：9月16日(月祝) 13:30-16:30(昼7時、昼食あり)

内容：みんなが個人で参加できる、楽しくて効果の上がる会議の進め方の仕組みや技術を学びます。

講師：南村 多津恵(くらのるくらすの創造舎)

第3回 協力者を増やし、仲間と活動を進めよう

日時：10月5日(土) 19:00-21:00(昼7時、昼食あり)

内容：活動を広げるため、地域の関係者と意思形成して連携するコツや、人の気持ちとまともに対応する進め方を学びます。

講師：山田和昭(日本鉄道マーケティング)、南村 多津恵

対象：主に近江鉄道沿線でまちづくり活動をする人、その他どなたでも

参加費：近江鉄道沿線でまちづくり等の活動をする人は無料、その他はカン/別(懇親会費は別途)

申込み：以下のフォームから各講座の2日前までにお申し込みください。

<https://forms.gle/C4gsD8n5kzGibVah9>

主催：人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム運営(やさしい交通しんが)

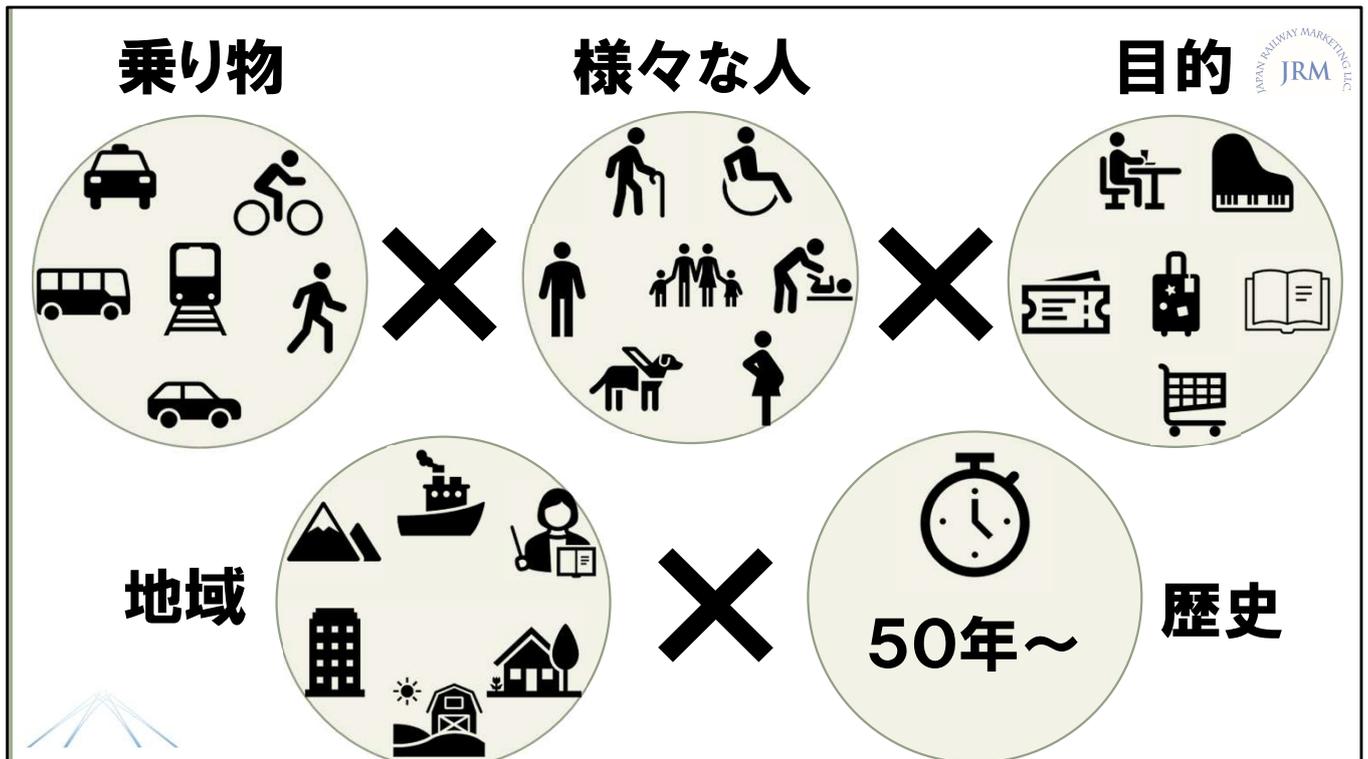
詳細：<https://00m.in/q/Wq>

※リアル会場では参加者同士で意見交換する実演を行います。オンラインでは原則として講師のみとなります。

※この講座は、国土交通省「令和7年度 共創・MaaS 実証プロジェクト」モビリティ人材育成事業」採択事業の一環です。



- ③ジオラマ作りを通して、駅と周辺のまちづくりを考える試みそして、
- ④市民活動プロデュースを進めるにあたって、さまざまな障害の乗り越え方を教える講座も開きました



鉄道の駅って面白い存在です
 電車だけでなく、バスやタクシー、自転車や徒歩などさまざまな乗り物が集まってきます
 そして、通勤通学の人だけでなく、家族づれ子供づれ、障がいのある方、お年寄りなど様々な方が集まります
 目的もさまざま電車に乗る・切符を買うだけでなく、お茶を飲んだり読書したり駅ピアノを演奏したり買い物したりと多様です
 山や街や郊外などさまざまな地域から人が集まります
 そして、これが何十年にもわたってまるでミルフィーユ、地層のように積み重なります。今80歳の人でも高校時代は駅を使った思い出があったりするので。こんな風に、多様な人々が集い・思い出を共有しているのが駅です。
 こんな施設、他にあるでしょうか？

こうした 駅が連なる鉄道



そして、この人が集う駅をレールが結んでいるのが鉄道です。
人と人を繋ぐには、物凄い力を持っているのです。

**鉄道をもっと活用して
「選ばれる地域」になろう**

「選ばれる地域」になろう

お金以外の
資本ある

車がないと困る!

お金の生活保護費
車は1万円
大抵!!
若者

馬鹿前にも
根葉もど可!
〜人にも根葉〜

お店・花
企業・業
学校・病院・役所・基
家・根

歩ける→寿命のびる

鉄道を残した
きっかけ!

「選ばれるまち」

「赤字鉄道は税金のむだ?」

自分が使わない道路何百kmある
小学校はよく? 赤字はど
自動運転? 鉄道のより簡単

歩ける? 鉄道のより簡単
車がないと困る! 鉄道を
使えるまち

自由ある

高収入

知れず、手取り
人件費
農山村
鉄道の

この会は、
何かの出会い
新しい世界広がるかも。

廃止? 存続? の議論はもうなく...

上下分離
小松・宇
越え区!

全3回
2023.10.9.月

鉄道をどうするか

〜この会からはあるものですよ!〜

第1回

まちづくりと交通の広場 しが 2023

駅について、いろいろと話し合ってきました。

これまでの駅、これからの駅



人の暮らしを鉄道と駅で豊かに



ハードの特徴をソフト（サービスと生活との関わり）に活かす

福井では、クルマで移動すると通過するだけの駅が、人と人を繋げる拠点になっていきました。

講演② まちづくりの核としての馬車と鉄道活用

金沢大学人間社会科学研究科博士課程修了
元北越急行バス株式会社専任取締役
伊東 尊彦

講演③ 地方鉄道再成の合意形成と市民・NPOなどの役割

NPO法人北越急行バスとまちづくりの会 (KOBA) 代表の長
NPO法人RACの理事、池田 洋一
清水 信吾

講演②の要点:

- 鉄道の衝突事故が発生
- 運行停止で300万人に影響が...
- 道路の渋滞
- 通学先の減少
- 困っているのは学生
- 44馬車
- 毎日2日 毎日1日
- 金沢会社と地球の「気」は?
- 通車時期 2019年 3.1
- Changes for the Future
- 仕事 社会 貢献
- PO以外全体で受賞
- セグメンタリズム?
- 無防備? 現実的?
- たまたま? 政策の比較
- 金沢の価値 ネット7-7イ77
- 金沢の根本的課題は?

講演③の要点:

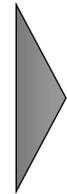
- トラストイン 誕生!!
- 市民団体の設立
- RACの意向
- 市民団体の設立
- 鉄道の再成
- 世論のうねり
- 市民が当事者意識をもち
- 議会の大胆な反対
- 市民団体の誕生
- 役割・責任分担と一体の上下関係
- 新型車両の導入
- NPO 役割
- 課題解決のパートナー

福井ではどうやって交通まちづくりを成功させたのか？
市民・鉄道・商工会・・・
それぞれの立場の方々からも話を聞きました。

人は快適な方に動く

カッコ悪い
わかりづらい
不便・高い
ストレス
臭い・汚い
暗い・怖い
寒い・辛い

逃



惹



カッコいい
わかりやすい
便利・安い
スムーズ
清潔
明るい安心
心地よい

そして、人は快適な方に動きます。

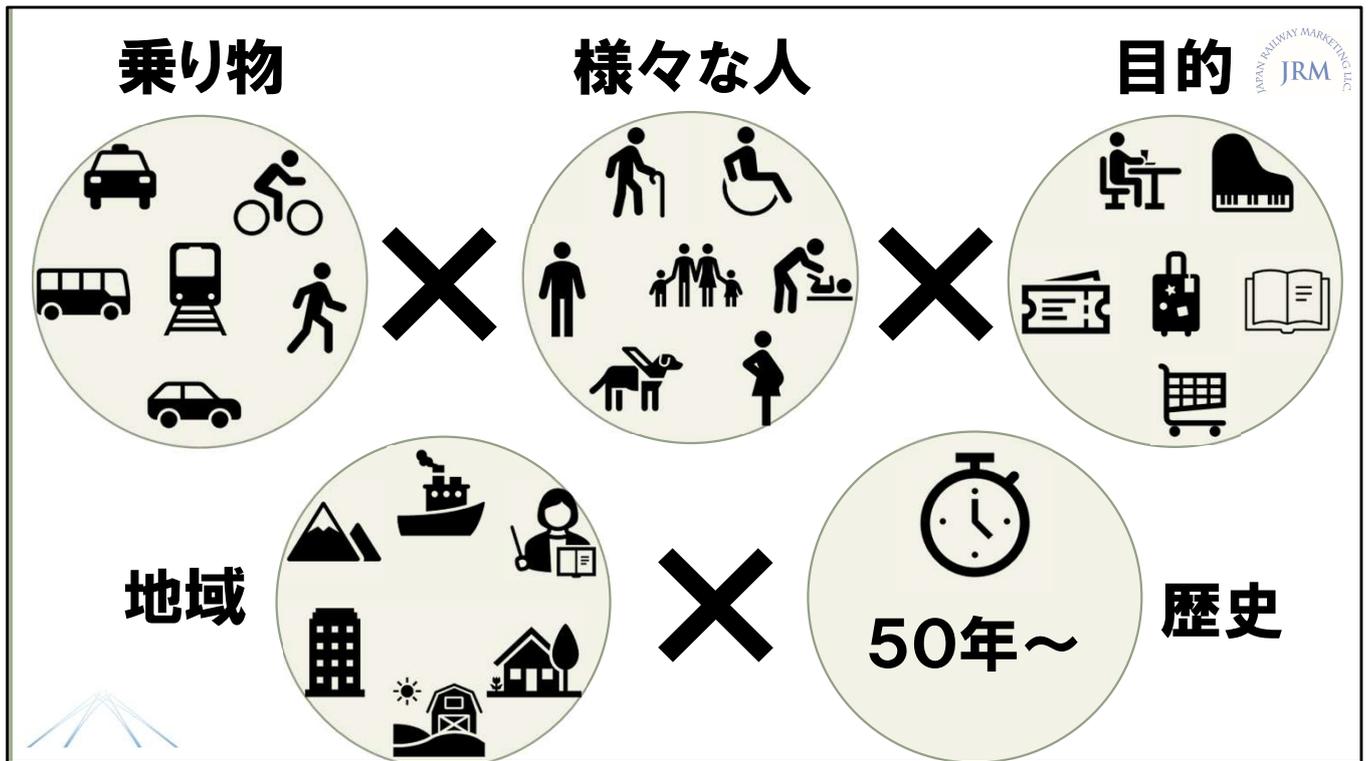
近江鉄道の待合室は、高校生が暖かく楽しく時間を過ごせる場所になっているか？

今は風が吹き抜ける中、震えながら電車を待っています。

そういう扱いを受けた若い方々が地域にどんな思いを持つでしょうか？

無関心のままだと変わりません。

大人たちが関心を持つ必要があります。市民が関心を持つと、良くなっていきます。



交通まちづくりの第一歩は自分たちの駅について考える
 いろんな人が繋がる駅を活かす事です。
 ぜひみなさんと一緒に考えていきたいのです。